

ラ フォレ セ ラ ヴィー ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



ブルキナファソ・バム県で実施している小学校緑化支援プロジェクトでは、参加 10 校を対象とした植林成績評価が行なわれました。1 位になったバンゴ小学校では、植樹されたニームの木が 9 ヶ月で 2 メートル近くまで成長しました。毎日朝夕、児童が当番を決めて灌水をしています。

ブルキナファソのバンゴ小学校より喜びの声

「バンゴ小学校は、1982 年 10 月 1 日に設立された公立小学校で、バム県コングシ市の第 2 学区に属します。2007 年度は 9 クラスで全校児童は 685 名、そして 13 名の教員がいます。

緑のサヘルと AJPEE (ブルキナファソの NGO で現地の協力団体) の支援で、60 本の苗木を植樹・維持管理し、第 1 回植林成績評価で参加 10 校のうち第 1 位に選ばれました。この素晴らしい結果は、緑のサヘルをはじめ、AJPEE、バム県教育局、同環境局、教員、PTA、児童といった全ての参加者による活動の賜物です。

学校植林活動を支えてくれた緑のサヘルと、活動に対して積極的に参加してくれた皆さんに感謝します。今後も、活動の成功のため、責任を持って取り組むつもりです。ありがとうございました。」

(バンゴ小学校 サワドゴ・ロミュアルド校長)

「どの学校も灌水は十分にされており、生育率 90%以上で素晴らしい結果でした。小学校植林でこれだけの結果ができることは珍しく、参加した 10 校の全てが成功したと言えるでしょう。成績を左右したのは生育率ではなく、家畜による食害対策と保護柵の補修でした。その点上位の 3 校は自分たちで工夫しており、努力が苗の成長にも表れていたように思います。今回、こうして評価を行なったことで、今後はどの学校もさらに熱心に活動を行なうようになるでしょう。」

(植林成績評価委員、バム県環境局ウエドラオゴ森林官のコメント)

活動報告 1

チャド



今回は、現地協力団体である **Les Amis de l'Arbre (木の友達)** からのメッセージを紹介します。同団体は、チャド東部アベシエの小学校教師やジャーナリストが集って 1997 年に設立され、2004 年以降、緑のサヘルの委託事業や JICA との協力事業に尽力してくれました。

「木の友達」はワッダイ州の環境保全を行っている団体で、1997 年に設立されました。事務局は 12 名の有志によって構成され、有志と支援者の方々からの寄付によって、活動を行っています。

活動では特に、住民の組織化や村々における「植林週間」の開催、地域環境における過度な生木伐採や野火の危険性についての啓発に力を入れています。

また、「緑のサヘル」や「ワッダイ・ビルティン開発プロジェクト」、「JICA」、「国連難民高等弁務官事務所」、「PSAOP」の支援による活動も行っています。これらのパートナーからの支援によって、スーダン難民や地域の人々に対する改良カマド作製講習会を実施し、さらにアベシエ市の小学校への植林や緑地帯の整備、生徒・父兄や教師に対する環境講習会、共同林地の設置を行いました。私たち「木の友達」は、開発に携わる全てのパートナーと協力し、これからも活動を広げて行くつもりです。

(Les Amis de l'Arbre 代表 ブライム)



代表のブライム氏(右)と事務局長のオマル氏

活動報告 2

タンザニア



＜難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧事業＞



ムグンズ村の村議会との話し合い

現在、タンザニアは乾季です。タンザニア西部のキゴマ州キボンド県で実施している同事業では、雨季が始まる 11 月から着手される植樹に向けて、苗木生産が進められています。

ムグンズ村とクムセンガ村に設置された育苗所では各々、管理責任者として村の青年 1 人が選出され、女性たちが日々苗木の手入れを行っています。村人の苗木の需要は比較的高く、祭日のセレモニーでは環境がテーマに取り上げられることもあります。しかし、育苗所を統括すべき村行政の環境分野におけるマネジメント力はまだ弱いのが現状です。

同事業では、研修や話し合いを通して、村の環境委員会の活性化を図ることも目的の一つとなっています。村が独自に環境問題を把握でき、育苗・植林だけでなくエネルギー消費量の減少、土壌浸食コントロールなど、包括的かつ恒常的な環境保全に結び付けられるよう組織力を強化していく予定です。

活動報告 3

ブルキナファソ



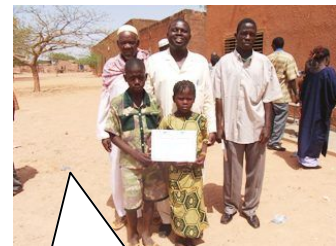
<バム県コングシ地域小学校緑化支援>

2007 年度小学校緑化活動成績発表会が開催されました！

2007 年度からバム県の小学校 10 校で緑化支援を開始し、1 年が経過しました。各学校の活動成果を皆に見てもらい、環境に対する関心がさらに高まるよう、成績発表会を開催しました。評価項目は、植樹方法、苗の成長状況、維持管理方法、児童・PTA の参加度、教員の意欲など。どの学校も生育率は 90% 以上と素晴らしい結果を残しましたが、特に 1 位から 3 位の学校は、校長を始め、教員の意欲が高く、灌水方法、PTA の参加など、評価委員を「脱帽！」と言わせるほどの熱心さでした。各学校には、賞状と賞品（スコップなどの掘削道具など）が授与されました。



2 位：パイエン・フルゴ小学校
植樹された木々のおかげで学校に活気が出てきています。賞も頂き、今後も更に熱意を持って前進していくつもりです。



3 位：ブレンガ小学校

緑化支援は大歓迎でした。というのもまず学校に道具を支援してくれたことで、児童や PTA が意欲を持って活動を継続していけ、さらに苗木の保護についての知識も得られたからです。



4 位：モゴデン小学校

植林活動は、学習環境を向上させるだけでなく、児童、教師、父兄が環境知識を習得する機会を与えてくれます。今後も活動支援が続くことを願っています。

2008 年度の支援校 5 校が決定しました。コラ小学校、バタンガ小学校、ダルビチ第 2 小学校、サン・ポール小学校、ズラ小学校。どの学校も開けた裸地に建てられており、植樹は急務です。

7 月中旬から下旬にかけて、各学校でニームやユーカリ、アカシア・ニロチカ、マンゴ等の苗が植樹されました。（6 頁参照）



コラ小学校

<バム湖周辺自然管理事業>

バム湖周辺は、1970 年代半ばに起こった大干ばつを契機に、植生が減少し、土地が劣化しつつあります。植生を失った土地に叩きつける降雨が、土壌を押し流して湖へと運び、大量の土砂が湖に堆積しつつあります。水深が浅くなった湖は雨季になると氾濫し、湖付近の耕作地を水没させてしまい、さらに、植生の喪失と表土の流亡により回復力と肥沃度を失った耕作地では、穀物収穫量が 30 年前の半分以下にまで落ち込んでいます。

緑のサヘルは、バム湖への土壌流入を食い止めるため、湖畔に位置するヤルゴ村とタンポンガ村の 2 村で、石堤の設置や石堤に沿って有用草を植栽する支援を始めました。



タンポンガ村での石堤設置の様子

活動報告

国内活動



5月のTICAD IVや7月のG8サミットでアフリカが取り上げられたことで、アフリカに関連する数多くのイベントやセミナー、会議が目白押しの3ヶ月でした。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

- 5月9日(金) 青森市立浪打中学校 事務所訪問(岡本)
- 5月13日(火) 多賀城市立高崎中学校 修学旅行生 事務所訪問(岡本)
仙台市立六郷中学校3年生 事務所訪問(岡本)
- 5月14日(水) 盛岡市立乙部中学校3年生 事務所訪問(菅川)
- 5月17～18日(土、日) アフリカンフェスタ2008横浜 出店
- 5月24～25日(土、日) なかアフリカンウィーク横浜 出店
- 5月27～30日(火～金) TICAD IVのサイドイベントへ参加(岡本)
- 5月31日(土) 緑のサヘル第38回報告会(町)
UNCCD(国連砂漠化対処条約事務局) ルック事務局長との懇談会(岡本)
- 6月9日(月) 財団法人 国際緑化推進センター主催 国民参加森づくり委員会参加(岡本)
- 6月11日(水) 社団法人 海外林業コンサルタント協会 難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・
復旧プログラム策定事業 平成20年第1回委員会 参加(岡本)
- 7月11日(金) 農林水産省研修(菅川)
- 7月11日(金) 湘南学園高校2年生 事務所訪問(岡本)



フジロックの小ステージで活動紹介する佐藤(中央)

● 平成20年度聖母大学公開講座「アフリカの現場から」

聖母大学看護学部 第2校舎 講堂(7月5日 土曜日)



「活動現場から見たアフリカの実情を語る」ことをテーマに、聖母大学において公開講座が開催されました。フリージャーナリストの天津司郎氏による「アフリカの紛争を読み解く」、聖母大学の教授である徳永瑞子氏による「ブラックアフリカの感染症の現状とその対策」と題した講演と共に、緑のサヘル事務局長の菅川拓也より「環境」の側面からの報告が行われ、環境問題は生活問題であること、生活基盤への支援なくして環境活動の実現は難しいことが発表されました。200名を越える聴衆が参加し、大好評のうちに幕を閉じました。

● フジロック・フェスティバル2008へ出店

(7月25～27日 金～日曜日)

フジロック・フェスティバルは単なる音楽フェスティバルとしてだけでなく、若者を中心とした市民とNGOが出会う場を提供するために「NGO ビレッジ」というコーナーを作っています。今年のテーマは、「地球温暖化」「自然エネルギー」「貧困」。緑のサヘルは、今年初めて出店し、普段NGOと接点のない若者たちに活動写真を見てもらうだけでなく、粘土製改良カマドの作製体験等を通して、環境や砂漠化に対する理解を深めてもらいました。



粘土をこねてカマドを作る若者たち。



イベント情報



イベント①

今年も開催！チャリティーコンサート！

来る10月5日(日)、大阪府の池田市民文化会館において、世界の舞台で活躍するソプラノ歌手鮫島有美子さんによるチャリティー・コンサートが催されます。このコンサートは、「(財)いけだ市民文化振興財団」「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会」「中西クリニック」が主催し、「池田市」「池田市教育委員会」「池田市公益活動促進協議会」の後援を得て開催の運びとなりました。

主催団体の一つである「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会」には、「緑のサヘル」が現地で活動を開始した1992年以来、バザーやコンサートを通じて活動を支えていただいています。1992年から始められたチャリティー・バザーは、阪神・淡路大震災があった1995年にも休まず2002年まで続けられました。そして翌2003年にはヴァイオリニストの幸田聡子さん、2004年はテノール歌手の錦織健さん、2005年はスーパートリオ（足立さつきさん、赤坂達三さん、斎藤雅弘さん）、2006年はヴァイオリニストの千住真理子さんによるチャリティー・コンサートを主催しています。いずれの年も収益は「緑のサヘル」に寄付され、現地での活動を支える大きな力となっています。



イベント②

チャリティー・ミュージカル公演決定！



僕らがそれをする理由。

Why we are here.



日本の演劇界において、舞台を通じて世界で引き起こされている貧困・内戦・難病・災害等の惨状を問題提起し、これらの問題の解決に取り組んでいる NPO・NGO に対して全収益金を寄付しようと立ち上がったステージアーティストたちが、『CARE WAVE (思いやりの心の波を広げる)』というノンフィクション・ミュージカルによる社会貢献活動を始めました。

来る11月14日(金)、新宿文化ホールにて第3回公演の開催が決定しました。主催は「CARE WAVE 実行委員会」と「(財)民族芸術交流財団」、そして「外務省」の後援と「日本航空」の協力を得ています。前回のテーマは、アジアの子どもたちの貧困、チェルノブイリ原発、地雷、報道カメラマンが見た真実、そして今回は「選ばれた大地アフリカ(仮)」と題し、アフリカの難民、飢餓と難病、貧困、紛争がテーマです。

今回の公演で得られた収益は、「緑のサヘル」のほかアフリカに対する支援活動を行っている NGO 団体に寄付される予定です。

こんな団体と協力しています！

「インターネットで気軽にできる
環境貢献」と「現実」を結ぶ

団体 ①



GREMZ（グリムス）というブログパーツ型環境貢献サイトがあります。ブログ上でバーチャル苗を育てることができ、大人の木に成長すると実際に世界各国に植樹されます。

緑のサヘルはグリムスさんと協力して、ブロガーの皆さんが育てた苗をブルキナファソに植樹することになりました。植樹場所は、3頁に掲載した小学校緑化支援対象校。7月に、ニームやユーカリなど300本が、各小学校の児童、教師、PTAによって植樹されました。



バイエン・フルゴ小学校における
植樹の様子。

グリムスさんのホームページ：<http://www.gremz.com/>

団体 ②



Leafbank（リーフバンク）とは、日々のネット検索がそのまま環境保護につながる検索サイトで、広告株式会社 adingo（アディング）さんが推進している社会貢献活動です。「Leafbank ツールバー」をユーザーが利用することで発生した広告収益の20%が、緑化推進に取り組む環境保護 NPO/NGO に寄付され、残りの収益でエコサービスや企画開発の運営・拡大を行っています。

緑のサヘルも、パートナー及び寄付先団体として Leafbank に登録されています。

リーフバンクさんのホームページ：<http://leafbank.jp/>



2009年 ☆ 緑のサヘルオリジナルカレンダー ☆ 注文受付中

毎年好評を頂いているアフリカ色たっぷりのカレンダーが今年も出来上がりました。

モーリタニアのコーランを囲む男性、ニジェール川の渡し舟、トーゴの日傘を差す男性たち・・・お部屋に居ながら、西アフリカの生活を満喫してください！！ 1年かけて西アフリカ諸国をぐるっとひと巡りしてみませんか？

2009年版は、デザインを一新し、日付の部分も写真に合った落ち着いた淡色で彩ってみました。毎年、ご家族やご友人へのプレゼントとしても、多くの方に喜んでいただいています。

注文方法など、詳しくは折り込みチラシをご覧ください。



ありがとうございました

【 新規会員のみなさま 】

山根 二郎／町 千恵子／鈴木 みゆき／(株)アースアンドヒューマンコーポレーション

【 継続会員のみなさま 】

中野 純子／岩永 孝子／杉田 光義／林 裕之／山田 和也・本所 稚佳江／本田 徹／桃井 和馬／佐々木 順子／永井 邦子
浅輪 哲司／(株)ホーム創建／和田 浩／水真 陽一／亘 友子／こじまこどもクリニック／下野 國夫／須藤 さい
佐野 のぶ／橋口 日出夫／衿野 未矢／室井 光子／村上 康子／綱島 孝 他匿名をご希望の方 1名

【 ご寄付を頂きました 】

井上 比呂志／浜松市立中川小学校3年生／多治見市立陶都中学校3年生／小林 伸張／小池 昌子／石黒 勇平
西村 豊子／ショファイユの幼きイエズス修道会／源 実恵／西田 陽子／青野 茂雄／佐藤 研太／榎木 みつ枝
(株)アグリビジネス 大橋 邦雄／丹 邦子／山根 二郎／太田 宣子／江刺 和弘／三浦 祐太／平田 圭／西村 尚恵
高崎 眞寛／安良田 みり／足立区立六月小学校生徒会長 岡庭 佑華／米本 明弘／黒田 泰二／千田 真実子
深井 英之／天野 洋子／土蔵 愛子／富田 百合子／永井 直子／田中 順子／木野下 章／久守 妙子
石川 麻衣・会田 泰雅・他／梅田 暢子／細越 祐介・倫子／市川 亨／永江 亜樹／粕谷 直洋
他匿名をご希望の方 10名 (敬称略、確認順)

上記は2008年4月21日から2008年7月31日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2008年7月31日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。また、ご芳名の掲載につきましては、お名前の公開を承諾された方のみを掲載させて頂いています。あらかじめご了承下さい。

【 08年の協力団体・助成団体 】

(財)毎日新聞東京社会事業団／(社)国際農林業協働協会
(社)日本経済団体連合会 自然保護協議会／(財)国際緑化推進センター／(社)国土緑化推進機構

写真を提供しました

- ▶ 仙台管区气象台：地球温暖化対策パンフレット ▶ かごしま環境未来館：パネル展示 ▶ 実業之日本社発行『地球の環境・暮らしの環境』▶ 日本ユネスコ協会連盟：子供向け環境教育チラシ ▶ 外務省パンフレット『気候変動分野における開発協力 - “Cool Earth” 実現に向けて-』▶ 長野県環境部環境政策課『地球温暖化防止活動の普及啓蒙のためのパンフレット』▶ 『学習の友』7月号特集「プラス2℃の危機－地球温暖化と洞爺湖サミット」▶ 環境省：サラゴサ国際博覧会（スペイン）パネル展示（テーマ：水と持続可能な開発）▶ 福岡市広報テレビ番組『コミュ！ふくおか』（地球温暖化防止特集）▶ 中央区：環境パネル展 ▶ 『学習の友』7月号特集「プラス2℃の危機－地球温暖化と洞爺湖サミット」 他6件

< 事務局スタッフ退職について >



チャド調整員、東京事務局総務として頑張ってきた佐藤裕美が、このたび専従を辞し、今後はボランティアとして会を支えてくれることになりました。佐藤さん、長い間お疲れさまでした！

緑のサヘルには3年間、勤めさせていただきました。
スタッフはもちろん、支援者の皆様からのあたたかい応援には心から感謝しております。
ありがとうございました！
(佐藤 裕美)

おしらせ

緑のサヘル ブログが立ち上がりました

今年の4月より、インターネット上の媒体として「緑のサヘル スタッフブログ」を開設いたしました。ブルキナファソ現地事務所や東京事務局から、スタッフの声をお届けいたします。また、緑のサヘルに関する最新情報も随時アップいたしますので、是非アクセスしてみてください。
(URL: <http://ags-japon.cocolog-nifty.com/blog/>)

ボランティアさん大募集！！

緑のサヘルでは、ボランティアさんを募集しております。参加するイベント等での準備・運営や、東京事務局での簡単な事務作業をお手伝いしていただける方は、是非ご連絡ください。「私も何か協力したい」「新しいことをはじめたい」という方は、メールやお電話などでお気軽にお問い合わせください。月に何日でも、1日に何時間でもOKです。

また、直接事務所にお越しただけなくなくても、ホームページやリーフレット、ニュースレターの英語翻訳などでご協力いただくことも大歓迎です。

(作業例)

- ・ニュースレターの発送準備、封筒詰め、ラベル貼り
- ・活動写真・映像資料などの整理、ファイリング
- ・カレンダー発送準備、民芸品管理の手伝い

現地の状況や国際協力に関する貴重な話を、直接スタッフから聞くことができるいい機会にもなります。

【目次】

- | | |
|-----------------|------------|
| 1・・・表紙 | 5・・・イベント告知 |
| 2・・・サド、タガニア活動報告 | 6・・・協力団体紹介 |
| 3・・・ブルキナファソ活動報告 | 7・・・ありがとう |
| 4・・・国内活動報告 | 8・・・お知らせ |

< 編集後記 >

●最近、夜になると家の網戸にセミがやってきます。網戸の前の空き地には、サルノコシカケがびっしり生えた木があります。以前と比べて、なんだか自然を身近に感じています。(岡本)

●ブルキナファソは穀物収穫の端境期。訪れた村々のほとんどの人たちが1日1食でした。食糧不足は深刻です。(菅川) ●先日、「日本は暑すぎる。早く帰国したい」と話すベナン人に会いました。日本の猛暑は彼らにとっても厳しいようです。(竹越)

●今後は緑のサヘルの活動に携わる側から応援する側になります。活動の重要性を知る者として、支援を続けていきたいと思えます。(佐藤) ●なんと10年ぶりに事務局のお手伝いに来ています。新鮮でもあり、懐かしくもあり。(坂井)

ご贈答品・ご挨拶にどうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなどハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表にございます。大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】郵便振替用紙にご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振り込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie ! Vol. 34

編集 岡本敏樹 菅川拓也 竹越久美子 佐藤裕美 町慶彦 坂井真紀子/発行 菅川拓也/発行所 緑のサヘル/印刷 社会福祉法人東京コロニー
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 田澤三ビル3F TEL:03-3252-1040/FAX:03-3252-1041

Home Page: <http://www.jca.apc.org/~sahel/> E-mail: sahel@jca.apc.org